

多くの人から認められ、

良さを価値付けられた各務原研修

5月11日（木）12日（金）の2日間、北中学校の他学年の先陣を切って、1年生が宿泊研修を行いました。場所は今年度からお世話になることになった『各務原少年自然の家』です。

AB組とCD組に分かれ、1日目と2日目にそれぞれ野外炊事とフィールドワークを行いました。その他、学年レク、キャンプファイヤー、奉仕活動等、自然の家ならではの活動を満喫することができました。

特に、この研修に臨むにあたって立てられた『自主的に協力や切り替えをして、楽しく、笑顔あふれる研修にしよう』という学年スローガンがしっかりと意識されている姿が随所で見られたことが印象的でした。

意識が希薄になりがちな時にはすぐに指摘の声がかかり、その声をすぐに受け止める呼応の姿が多くの場面で見られました。

さらには、そうした学び・経験を生かして、次の機会には、何の指示がなくても自分たちで考えて動き、整然とした雰囲気を生み出す、という短時間の中でレベルアップした場面にも出会いました。

気持ちのよい挨拶をすることもできます。元気いっぱい活動することもできました。時間いっぱい奉仕活動に取り組む姿もありました。

こうした様々な場面に立ち会われた自然の家の職員の方々（ほとんどが現役の先生方）が、1年生の意欲・姿勢の素晴らしさとして褒めてみえました。退所式の中での職員の方の話の中にもありましたね。

こうした1年生の素晴らしさ（個人・集団ともに）は、今後の生活の中でさらに伸ばすことができると確信しました。1年生のこれからの注目です。

【クラススナップ】（上段から1A、1B、1C、1Dの順）

